Er 添加光ファイバ中の構造解析

住友電気工業(株) 斎藤吉広

ysaito@sei.co.jp

長距離光ファイバ通信システムにおける光増幅では、コアのシリカガラスに Er などの希土類元素を添加したファイバが利用されている。 実際のファイバでは、 Er の他に Al などの元素を共添加することにより増幅帯域の改善を図ってい

る。メカニズム的には、AI 共添加により Er 周囲の配位構 造が変化し、最終的な帯域特性の変化をもたらすと考えら れているが、詳細は解明されていない。本研究は、X 線散 乱と XAFS 測定、及び、分子動力学シミュレーションにより、 Er 添加光ファイバの構造解析を行い、特性改善の指針を 得ることを目的としている。

測定サンプルには、光ファイバの被覆樹脂とクラッド層 を精密エッチングにより除去し、数µm のコアだけを抽 出したものを用意した。これをキャピラリに充填し、 BL16XU にて X 線散乱測定を行った。サンプル室の He 置換や X 線経路への減圧管配置などバックグランド低減 により、微量サンプルでも良好な散乱スペクトルと動径分 布関数を得ることが可能となった。

















